

第4回大阪府環境審議会環境総合計画部会の概要

日 時：平成22年1月19日(火)10:00～12:00

場 所：大阪赤十字会館3階 302会議室

資料1（環境総合計画部会報告 骨子案）について審議を行った。

各委員からの主な意見は、以下のとおり。

基本となる視点

- ・先駆的な取組みの事例として、家電リサイクル大阪方式の取組みを追加すべき。
- ・「府域には環境・エネルギー産業が集積しており」とあるが、関西圏には研究機関が多くあるので、研究機関も入れるべき。

計画の枠組み

- ・4.計画の構成には、どれも大変いいことが書かれている。

目標

- ・記載されている内容は「目標」そのものではなく「目標のあり方」であり、表題をそのように変更すべき。
- ・将来像のキーワードに、「施策展開のあり方」にある「参加・行動」の趣旨を入れてはどうか。
- ・「持続可能都市」は「持続的発展が可能な都市」という意味とわかるよう工夫すべき。
- ・目標の設定に当たっては、「環境目標」と「行動目標」の2つのキーワードに分けて考えるとわかりやすくなるのではないか。

施策の展開のあり方

- ・「参加・行動」の表題について、参加して一緒にやるという趣旨で、「参加・協働」とした方がよいのではないか。
- ・意識改革がないと環境配慮行動には結びつかないので、「参加・行動」では、まず意識改革が必要という趣旨の記述を入れるべき。
- ・「大阪人氣質を踏まえつつ、行動に対して何らかのインセンティブが伴う仕組みの導入を検討すべき」では、大阪人氣質は損得勘定だけと取られかねないので、「みんなでやったら楽しい」等の意味も含まれる記述にすべき。
- ・環境教育は重要な項目であるので、「参加・行動」の中で1項目起こすべき。
- ・「低炭素」の表題を「温暖化対応」とし、その中の一つの大きな柱を「低炭素」とした方がよい。
- ・「健康・魅力」の「魅力」の意味がはっきりしていないのではないか。
- ・「健康・魅力」は、健康の維持プラス楽しさを創生するということを掲げられればよいのではないか。
- ・情報発信の強化の中に環境教育が入っているが、環境教育は非常に大事であり、これで一つ項目を起こして欲しい。
- ・生物多様性では、都市部についても触れて欲しい。

計画の効果的な推進

- ・もう少し具体的な内容があった方がよいのではないか。